

40 ペアブロック

いよいよ今週末には「釜利谷スポーツデイ」を実施いたします。天候が気にかかる場所ですが、雨さえ降らなければ、予定通りに行いますので、お子さんの姿をご覧いただければと思います。

新型コロナウイルスの影響で、今年度はペア学年ブロックごとの徒競走、団体競技となりましたが、先週からその練習の様子を見ていてうれしい気づきがありました。従来の運動会練習では、団体競技練習は低中高ブロックで行っています。そのため学年差がひと学年となりますが、ペア学年での練習となれば1年6年(ここは大きいですね)、2年4年、3年5年となり、わずかではありますが従来よりも学年差が広がります。この学年差が広がることで、上級生は自分たちが手本となる、自分たちが導くという自覚をもつようになります。また、下級生は上級生の真似をして動きを覚えたり、分からないことを聞いたりします。

縦割りの効用ということを以前この紙面でも伝えさせていただきましたが、モデルケースとなる自覚、モデルケースを見て学ぶ姿勢、今回の釜利谷スポーツデイの練習の取り組みの中にはこうした動きが含まれていました。

